令和6年度版(2024年度版)『小学算数』

**年間指導計画案（略案）**

令和6年（2024年）３月

「領域」欄のＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの記号は、各学年で次の領域を示しています。

［１・２・３年］　　　　　　　　　　　　［４・５・６年］

Ａ…数と計算　　　　　　　　　　　　　　Ａ…数と計算

Ｂ…図形　　　　　　　　　　　　　　　　Ｂ…図形

Ｃ…測定　　　　　　　　　　　　　　　　Ｃ…変化と関係

Ｄ…データの活用　　　　　　　　　　　　Ｄ…データの活用

※本資料で示した配当時数は、今後公開される各種情報によって、変更となる可能性があります。ご了承ください。



『小学算数』１年　年間指導計画（略案）

　　　年間指導時数：126時間　予備時間：10時間　（標準時数：136時間）

【①（第1分冊）】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| ４月（８時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | 　　かずや　かたちで　　たのしく　　①表2～p.13 | 4 | 就学前の算数につながる活動の振り返り観点に応じたものの集合づくり集合の要素を1対1に対応させる（相等、大小） |  | Ａ |
| 1　 10までの　かず　　① p.14～31 | 9 | 1から10までの数について　具体物→半具体物→数字　数の表し方と数字、数詞の唱え方、数え方音の数を数える数の系列と大小0の意味（減少して0になる、空集合） |  | Ａ |
| ５月（16時間） |
| 2　 なんばんめ　　① p.32～35 | 2 | 順序数で位置を表す（前後、左右、上下）順序数と集合数の対比 |  | Ａ・Ｂ |
| 3　 いくつと　いくつ　　① p.36～45 | 7 | 5～10の数の合成と分解10の補数関係 |  | Ａ |

【②（第2分冊）】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| ６月（16時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | 4　 あわせて　いくつ　　ふえると　いくつ　　② p.2～13 | 9 | お話づくり、加法の意味加法の用いられる場面（合併、増加）（1位数）＋（1位数）＝（1位数または10）式の意味（センテンス型、フレーズ型）計算カードによる加法の習熟0を含む加法 | ＋＝ | Ａ |
| 5　 のこりは　いくつ　　ちがいは　いくつ　　② p.14～27 | 9 | お話づくり、減法の意味減法の用いられる場面（求残、求補、求差）（1位数または10）－（1位数）＝（1位数）計算カードによる減法の習熟0を含む減法 | － | Ａ |
| ７月（８時間） |
| 6　 かずを　せいりしよう　　② p.28～31 | 3 | いくつかの種類のものを、絵図を用いて整理する整理した結果から特徴をよみ取る |  | Ｄ |
| ふくしゅう　　② p.32～33 | 1 | 1学期の学習内容の復習 |  |  |
| ９月（16時間） | ２　　学　　期 | 7　10より　おおきい　かず　　② p.36～45 | 8 | 20までの数の構成、よみ方、表し方、順序、数系列、大小2とび、5とびの数え方20までの数の合成・分解10＋（1位数）の加法と逆の減法簡単な2位数の加法、減法 |  | Ａ |
| 8　 なんじ　なんじはん　　② p.46～47 | 1 | 時刻の意味何時、何時半の時計のよみ方 |  | Ｃ |
| 9　 どちらが　ながい　　② p.48～52 | 5 | 長さの直接比較長さの間接比較（テープで長さを抽出）長さの任意単位による測定 |  | Ｃ |
| 10　ふえたり　へったり　　② p.53～58 | 4 | 加法と減法の組み合わせによる3つの数の計算 |  | Ａ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 10月（16時間） | ２　　学　　期 | 後　　　　　期 | 11　たしざん　　② p.59～71 | 10 | （1位数）＋（1位数）＝十何（繰り上がりあり）の計算（加数分解、被加数分解）計算カードでの練習加法の問題づくり |  | Ａ |
| 12　かたちあそび　　② p.72～76 | 6 | 身の回りの立体を使って遊ぶ立体図形の特徴となかま分け（面に着目）立体を構成する面としての平面図形の素地折り紙を折ってできる形の変化 |  | Ｂ |
| 11月（16時間） |
| 13　ひきざん　　② p.77～89 | 10 | 十何－（1位数）＝（1位数）（繰り下がりあり）の計算（減加法、減々法）計算カードでの練習減法の問題づくり |  | Ａ |
| 12月（８時間） | たすのかな　ひくのかな　　② p.90～91 | 2 | 加法、減法の演算決定 |  | Ａ |
| 14　どちらが　おおい　　どちらが　ひろい　　② p.92～97 | 5 | かさの直接比較、間接比較任意単位によるかさの数値化と比較広さの直接比較任意単位による広さの数値化と比較 |  | Ｃ |
| ふくしゅう　　② p.98～99 | 1 | 2学期の学習内容の復習 |  |  |
| １月（12時間） | ３　　学　　期 | 15　20より　大きい　かず　　② p.100～112 | 11 | 100までの数の構成、よみ方、表し方、順序、数系列、大小位取り記数法、空位の0の意味数表、数直線の見方100をこえる数（120程度まで）の順序、数系列、大小 | 一の位十の位 | Ａ |
| ２月（12時間） | 16　たしざんと　ひきざん　　② p.114～119 | 4 | 10を単位とした2位数の加法、減法繰り上がりのない（2位数）＋（1位数）の計算繰り下がりのない（2位数）－（1位数）の計算 |  | Ａ |
| 17　なんじ　なんぷん　　② p.120～122 | 2 | 何時何分の時計のよみ方 |  | Ｃ |
| 18　ずを　つかって　　かんがえよう　　② p.123～131 | 4 | 順序数を含む加法、減法間接加法、間接減法（1対1対応）求大、求小 |  | Ａ |
| 19　かたちづくり　　② p.132～135 | 4 | 平面図形を用いた構成色板の操作による形の変化色板、色棒、ドットを用いての形の構成 |  | Ｂ |
| ３月（８時間） | 20　おなじ　かずずつ　　わけよう　　② p.136～137 | 2 | 具体物を分けること |  | Ａ |
| 1年の　ふくしゅう　　② p.141～144 | 3 | 1年の学習内容の総復習 |  |  |

『小学算数』２年　年間指導計画（略案）

　　　年間指導時数：161時間　予備時間：14時間　（標準時数：175時間）

【上巻】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| ４月（15時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | さあ、算数の　学習をはじめよう！　　上p.2～10 | 1 | 問題解決的な学習を進めることを通して、学習の進め方を確認する＊十何－（1位数）＝（1位数）（繰り下がりあり）の計算（減加法、減々法） |  |  |
| 1　 ひょうと　グラフ　　わかりやすく　あらわそう　　上p.11～16 | 5 | 数量を分類整理して、1次元の表に表す○を用いたグラフ |  | Ｄ |
| 2　 たし算たし算の　しかたをくふうしよう　　上p.17～30 | 8 | （2位数）＋（1、2位数）の計算加法の筆算形式加法の交換性 |  | Ａ |
| ５月（20時間） | 3　 ひき算ひき算の　しかたをくふうしよう　　上p.31～43 | 9 | （2位数）－（1、2位数）の計算減法の筆算形式加法と減法の関係（検算に利用） |  | Ａ |
| たすのかな　ひくのかな上p.44 | １ | 加法、減法の演算決定 |  | Ａ |
| 4　 長さの　単位　　長さを　はかろう　　上p.45～58 | 10 | 任意単位→普遍単位による測定長さの単位　cm、mm直線の作図長さの加法、減法30 cmものさしによる測定 | 単位直線 | Ｃ |
| ６月（20時間） | 5　 時こくと　時間　　時計を　生活に　つかおう　　上p.59～66 | 4 | 時刻、時間の意味とその区別日、時、分の関係 |  | Ｃ |
| 6　 1000までの　数　　100より　大きい数を　　あらわそう　　上p.67～80 | 10 | 数え方のくふう（十、百を単位にして数える）1000以下の数の構成、表し方、よみ方、数系列、大小、順序十を単位とした加法、減法 | ＞＜ | Ａ |
| 7　 たし算と　ひき算の筆算　　筆算の　しかたを　　さらに　くふうしよう　　上p.81～97 | 11 | （2位数）＋（1、2位数）＝（3位数）の計算と筆算形式（3位数）－（1、2位数）＝（2位数）の計算と筆算形式簡単な場合の3位数と2位数などの加法、減法（ 　）を使った加法 |  | Ａ |
| ７月（10時間） |
| ふくしゅう　　上p.98～100 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り1学期の学習内容の復習 |  |  |
| ９月（20時間） | ２　　学　　期 | 8　 水の　かさ　　水の　かさを　はかろう　　上p.101～111 | 7 | 任意単位→普遍単位による測定かさの単位　dL、L、mLかさの加法、減法 |  | Ｃ |
| 9　 三角形と　四角形　　形を　しらべよう　　上p.113～128 | 12 | 三角形、四角形の弁別三角形、四角形の意味、作図直角の意味長方形、正方形、直角三角形の意味、弁別方眼紙を用いての作図身のまわりで長方形、正方形、直角三角形の形のものを探す長方形、正方形、直角三角形の敷きつめ | 辺頂点直角 | Ｂ |
| 10月（20時間） |

【下巻】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 10月（20時間） | ２　　学　　期 | 後　　　　　期 | 10　かけ算（1）　　新しい　計算のしかたを　　考えよう　　下p.5～26 | 22 | 乗法の意味、乗法が用いられる場面乗法の式の意味乗法の答えの求め方身のまわりで乗法九九が適用できるものを探す倍の意味の導入乗法九九の構成と適用　2の段、5の段、3の段、4の段乗法の問題づくり | × | Ａ |
| 11月（20時間） |
| 11　かけ算（2）　　新しい　九九のつくり方を　　考えよう　　下p.27～39 | 15 | 乗法九九の構成と適用　6の段、7の段、8の段、9の段、1の段乗法の問題づくり |  | Ａ |
| 12月（10時間） |
| 12　九九の　ひょうかけ算の　きまりを見つけよう　　下p.41～51 | 7 | 九九の表の構成九九の表での積の並び方乗法に関して成り立つ性質乗法の交換法則簡単な2位数の乗法1つの数をいろいろな数の積や和とみて、九九を応用し答えを見つける倍の問題での乗法の適用 |  | Ａ |
| ふくしゅう　　下p.52～54 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り2学期の学習内容の復習 |  |  |
| １月（15時間） | ３　　　学　　　期 | 13　長い　長さ　　長い　長さを　はかろう　　下p.55～62 | 5 | 長さの単位　ｍ1ｍものさしによる測定1ｍの量感長さの加法、減法 |  | Ｃ |
| 14　10000までの　数1000より　大きい数をあらわそう　　下p.63～78 | 11 | 10000以下の数の構成、表し方、よみ方、数系列、大小、順序数の多面的な見方百を単位にした加法、減法 |  | Ａ |
| ２月（15時間） | 15　もんだいの　考え方　　図に　あらわして　考えよう　　下p.79～86 | 6 | □の使い方減法逆減法、減法逆加法、加法逆減法加法と減法の相互関係 |  | Ａ |
| 16　はこの　形　　はこの　形を　しらべよう　　下p.87～94 | 6 | 面の意味箱の形、さいころの形についての構成、要素、基本的性質箱づくり | 面 | Ｂ |
| ３月（10時間） | 17　分数　　分けた　大きさの　　あらわし方を　考えよう　　下p.95～101 | 5 | $\frac{1}{2}$、$\frac{1}{3}$などの簡単な分数 |  | Ａ |
| 算数ジャンプ　　下p.102～103 | 1 | 10をつくる計算ゲーム答えの大小や数の組み合わせを考える計算 |  |  |
| 2年の　ふくしゅう　　下p.106～110 | 3 | 単元で培った見方・考え方の振り返り2年の学習内容の総復習 |  |  |

『小学算数』３年　年間指導計画（略案）

　　　年間指導時数：157時間　予備時間：18時間　（標準時数：175時間）

【上巻】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| ４月（15時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | さあ、算数の学習をはじめよう！　　上p.2～10 | 1 | 問題解決的な学習を進めることを通して、学習の進め方を確認する＊1つの数をいろいろな数の積とみて、　九九を応用し答えを見つける |  |  |
| 1　 かけ算　　かけ算のきまりを見つけよう　　上p.11～22 | 8 | 0の乗法九九表を用いて乗法の性質を調べる（乗数が1ずつ増減するときの積の増減）交換法則・分配法則・結合法則10の乗法 |  | Ａ |
| 2　 わり算　　新しい計算のしかたを　　考えよう　　上p.23～36 | 10 | 除法の意味（等分除、包含除）除数の段の九九を使って商を見つける除法の問題づくり1や0の除法簡単な除法　（2位数）÷（1位数） | ÷ | Ａ |
| ５月（20時間） |
| 3　 時間の計算と短い時間　　時こくや時間のもとめ方を　　考えよう　　上p.37～46 | 5 | 簡単な時刻、時間を、時計、数直線を使って求める時間の単位　秒10秒の量感 |  | Ｃ |
| 4　 たし算とひき算　　筆算のしかたを考えよう　　上p.47～62 | 11 | （3位数）＋（3位数）の筆算形式（3位数）－（3、2、1位数）の筆算形式（4位数）±（4位数）の筆算形式（千いくつ）－（3位数）の筆算形式加法の結合法則2位数の加法、減法の暗算 |  | Ａ |
| ６月（20時間） |
| 5　 ぼうグラフ　　調べたことをグラフや　　表に整理しよう　　上p.63～82 | 13 | 正の字を使った記録を表に整理棒グラフのよみ方、かき方2次元の表のよみ方、かき方複数の棒グラフを組み合わせたグラフ |  | Ｄ |
| ７月（10時間） | 6　 あまりのあるわり算　　あまりのあるわり算の　　しかたを考えよう　　上p.83～95 | 8 | 九九1回適用であまりのある除法あまりと除数との大小関係答えの確かめ方あまりの処理 |  | A |
| ふくしゅう　上p.96～98 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り1学期の学習内容の復習 |  |  |
| ９月（20時間） | ２　　学　　期 | 7　 大きい数　　10000より大きい数を表そう　　上p.99～113 | 9 | 1億未満の数の構成、表し方、よみ方、数系列、大小、順序1億　不等号を使った大小の表し方10倍、100倍、1000倍、10でわった数 | 数直線等号不等号 | Ａ |
| 8　 長さ　　長い長さを表そう　　上p.115～124 | 6 | 巻き尺のしくみと使い方道のり、きょりの意味長さの単位　km道のりの計算 |  | C |
| 9　 円と球　　まるい形を調べよう　　上p.125～137 | 9 | 円の意味　円の作図コンパスを利用した図形や模様の作図コンパスを利用した長さのうつし取り球の意味身のまわりで円や球の形のものを探す |  | Ｂ |
| 10月（20時間） |

【下巻】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 10月（20時間） | ２　　学　　期 | 後　　　　　期 | 10　かけ算の筆算（1）　　かけ算のしかたをくふうしよう　　下p.5～20 | 11 | （何十、何百）×（1位数）の計算（2、3位数）×（1位数）の計算乗法の筆算形式（2位数）×（1位数）の暗算 |  | Ａ |
| 11　小数　　1より小さい数を表そう　　下p.21～34 | 10 | 小数の意味、小数第一位までの数の構成、表し方、よみ方、数系列、大小小数の多面的な見方小数の加法、減法と筆算形式 | 小数点 | Ａ |
| 11月（20時間） |
| 12　重さ　　ものの重さをはかろう　　下p.35～48 | 8 | 重さの意味と測定の意味直接比較、間接比較、任意単位→普遍単位による測定重さの単位　g、kg、t秤の目盛りのよみ方、測定重さの量感、重さの加法、減法メートル法の単位のしくみ |  | Ｃ |
| 13　分数　　分数の表し方を調べよう　　下p.49～63 | 12 | 分数（分母、分子）の意味、表し方、よみ方、数系列、大小分数と小数の相互関係　$\frac{1}{10}$＝0.1同分母分数の加法（和が1以下）、減法（被減数が1以下） | 分母分子$\frac{1}{10}$の位 | Ａ |
| 12月（10時間） |
| ふくしゅう　　下p.64～66 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り2学期の学習内容の復習 |  |  |
| １月（15時間） | ３　　学　　期 | 14　□を使った式　　□を使った式で表そう　　下p.67～73 | 4 | 数量関係を□を用いた式に表し、□にあてはまる数を求める（加法、減法、乗法） |  | A |
| 15　倍の見方　　倍の計算を考えよう　　下p.74～77 | 3 | 倍の第2用法倍の第1用法倍の第3用法 |  | A |
| どんな計算になるか考えよう　　下p.78 | 1 | 倍の場面の演算決定 |  | A |
| 16　三角形と角　　三角形と角を調べよう　　下p.79～93 | 10 | 二等辺三角形、正三角形の意味（定義）及び基本的性質コンパス、円での作図折り紙からの正三角形の構成角の意味、角の大小二等辺三角形、正三角形の敷きつめ |  | B |
| ２月（15時間） |
| 17　かけ算の筆算（2）　　かけ算の筆算のしかたを　　さらに考えよう　　下p.95～106 | 8 | 何十をかける計算（1、2位数）×（2位数）の計算と筆算形式（3位数）×（2位数）の計算と筆算形式 |  | A |
| ３月（10時間） | どんな計算になるか考えよう　　下p.107 | 1 | 乗法、除法の演算決定 |  | Ａ |
| 18　そろばん　　そろばんで計算しよう　　下p.108～111 | 3 | そろばんによる数の表し方玉のおき方、とり方簡単な加法、減法 |  | A |
| 算数ジャンプ　下p.112～113 | 1 | おもりを組み合わせて重さをはかる |  |  |
| 3年のふくしゅう　　下p.116～120 | 3 | 単元で培った見方・考え方の振り返り3年の学習内容の総復習 |  |  |

『小学算数』４年　年間指導計画（略案）

　　　年間指導時数：168時間　予備時間：7時間　（標準時数：175時間）

【上巻】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 4月（15時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | さあ、算数の学習をはじめよう！　　上p.2～10 | 1 | 問題解決的な学習を進めることを通して、学習の進め方を確認する＊小数の多面的な見方 |  |  |
| 1　 大きい数　　一億より大きい数を表そう　　上p.11～24 | 8 | 億、兆の単位の数の構成、よみ方、表し方、大小10倍、100倍、$\frac{1}{10}$にした数十進位取り記数法の意味とよさ大きい数の乗法 |  | Ａ |
| 2　 わり算（1）　　わり算のしかたをくふうしよう　　上p.25～43 | 11 | （2位数）÷（1位数）＝（2位数）の計算除法の筆算形式（3位数）÷（1位数）＝（3、2位数）の筆算形式（2、3位数）÷（1位数）の暗算 | 和差積商 | Ａ |
| ５月（20時間） |
| どんな計算になるか考えよう　　上p.44 | 1 | 乗法、除法の演算決定 |  | Ａ |
| 3　 折れ線グラフと表　　グラフや表に表そう　　上p.45～64 | 13 | 折れ線グラフの特徴、よみ方棒グラフと折れ線グラフを組み合わせたグラフ折れ線グラフのかき方資料を分類整理して、2次元の表にまとめる |  | Ｄ |
| ６月（20時間） | 4　 角と角度　　角の大きさをはかろう　　上p.65～76 | 8 | 量としての角の意味、回転によってできる角角の単位　度　分度器の構造、使い方角の測定、計算で角を求める、作図1辺と両端の角がわかっている三角形の作図 |  | Ｂ |
| 5　 およその数　　およその数で表そう　　上p.77～88 | 8 | 概数を用いることの意味とその用い方四捨五入による概数の求め方、もとの数範囲概数の使用とグラフ | 以上以下未満 | Ａ |
| 6　 小数　　小数のしくみを考えよう　　上p.89～105 | 13 | 小数第三位までの数の構成、表し方、よみ方、数系列、大小小数の加法的意味と乗法的意味、多面的な見方10倍、$\frac{1}{10}$にした数小数第二位までの加法、減法 |  | Ａ |
| ７月（10時間） |
| ふくしゅう　　上p.106～108 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り1学期の学習内容の復習 |  |  |
| ９月（20時間） | ２　　学　　期 | 7　 わり算（2）　　わり算の筆算のしかたを　　さらに考えよう　　上p.109～125 | 11 | （2、3位数）÷（2位数）＝（1位数）の計算と筆算形式仮商の見積もり方、修正の仕方（商を減らす方法と四捨五入による方法）（3位数）÷（2位数）＝（2位数）の筆算形式除法に関して成り立つ性質　大きい数の除法 |  | Ａ |
| 8　 倍の見方　　倍で大きさをくらべよう　　上p.126～132 | 5 | 倍の第1用法、第2用法、第3用法もとにする大きさを1とみることかんたんな割合 |  | Ｃ |
| どんな計算になるか考えよう　　上p.133 | 1 | 倍の場面の演算決定 |  | Ｃ |
| 10月（20時間） | 9　 そろばん　　そろばんで計算しよう　　上p.134～136 | 2 | 大きい数（億、兆）、小さい数（小数第二位まで）の表し方そろばんによる加法、減法 |  | Ａ |

【下巻】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 10月（20時間） | ２　　学　　期 | 後　　　　　期 | 10　四角形　　いろいろな四角形を調べよう　　下p.5～26 | 15 | 2直線の垂直、平行関係の意味（定義）、基本的性質、作図平行線が他の直線に交わるときの角の大きさ平行四辺形、ひし形、台形の意味（定義）、基本的性質、作図、敷きつめ四角形の対角線の交わり方 | 垂直平行対角線 | Ｂ |
| 11　式と計算　　計算のきまりを調べよう　　下p.27～38 | 8 | 2段階の関係を、（　）を用いて総合式に表す四則混合式の計算順序（乗除先行）分配法則、交換法則、結合法則（既習の計算範囲まで）式をよむ |  | Ａ |
| 11月（20時間） |
| 12　面積　　広さを表そう　　下p.39～58 | 14 | 面積の意味長方形、正方形の面積の求め方、求積公式面積の単位　cm2、m2、km2、a、haとその相互関係（メートル法の単位のしくみ）面積の量感 |  | Ｂ |
| 13　分数　　分数のしくみを考えよう　　下p.59～72 | 10 | 分数の表し方（真分数、仮分数、帯分数）仮分数と帯分数の相互関係大きさの等しい分数同分母分数の加法、減法（帯分数含む） | 真分数仮分数帯分数 | Ａ |
| 12月（10時間） |
| ふくしゅう　　下p.74～76 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り2学期の学習内容の復習 |  |  |
| １月（15時間） | ３　　学　　期 | 14　変わり方　　どのように変わるか調べよう　　下p.77～87 | 4 | 表を用いて変わり方を調べる（和一定、差一定、商一定）数量の関係を□、△などを用いて表す |  | Ａ・Ｃ |
| 15　計算の見積もり　　がい数で計算しよう　　下p.88～92 | 3 | 概数を用いた見積もり（和、差、積、商） |  | Ａ |
| 16　小数のかけ算とわり算　　小数のかけ算とわり算の　　しかたを考えよう　　下p.93～112 | 14 | （小数）×（整数）の計算と筆算形式（小数）÷（整数）の計算と筆算形式あまりのある小数の除法除法でわり進むこと小数倍 |  | Ａ |
| ２月（15時間） |
| 17　直方体と立方体　　いろいろな箱の形を調べよう　　下p.113～127 | 10 | 直方体、立方体の意味（定義）及び基本的性質、構成要素平面の意味（定義）見取図、展開図の見方、かき方辺と面の垂直・平行関係平面、空間上（2、3次元）の位置の表し方 | 平面 | Ｂ |
| ３月（10時間） |
| 算数ジャンプ　　下p.128～133 | 3 | トライアスロンの記録についての考察とび出すカードのしくみについての考察ふしぎなかけ算のしくみについての考察 |  |  |
| 4年のふくしゅう　　下p.136～140 | 3 | 単元で培った見方・考え方の振り返り4年の学習内容の総復習 |  |  |

『小学算数』５年　年間指導計画（略案）

　　　年間指導時数：169時間　予備時間：6時間　（標準時数：175時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 4月（15時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | さあ、算数の学習をはじめよう！　　p.2～10 | 1 | 問題解決的な学習を進めることを通して、学習の進め方を確認する＊表を用いて変わり方を調べる |  |  |
| 1　 整数と小数のしくみ　　数のしくみを調べよう　　p.11～16 | 4 | 十進位取り記数法のまとめ小数を10倍、100倍、1000倍、$\frac{1}{10}$、$\frac{1}{100}$、$\frac{1}{1000}$にした数と小数点の移動 |  | Ａ |
| 2　 体積　　直方体や立方体のかさを表そう　　p.17～31 | 11 | 体積の意味直方体、立方体の体積の求め方、求積公式体積の単位　cm3、m3とその相互関係（メートル法の単位のしくみ）入れものにはいるかさ（容積）体積の量感 |  | Ｂ |
| ５月（20時間） |
| 3　 2つの量の変わり方　　ともなって変わる2つの量の　　関係を調べよう　　p.32～38 | 5 | 比例の関係、意味比例と数直線図ともなって変わる2量の関係（差が一定、商が一定） | 比例 | Ｃ |
| 4　 小数のかけ算　　小数をかける計算のしかたを　　考えよう　　p.39～52 | 12 | 小数をかける意味と計算の仕方(整数)×(小数)、(小数)×(小数)の筆算形式（乗数、被乗数が小数第二位まで）乗数の大きさと積の大小関係小数についても公式や計算法則が成り立つこと |  | Ａ |
| 5　 小数のわり算　　小数でわる計算のしかたを　　考えよう　　p.53～67 | 12 | 小数でわる意味と計算の仕方(整数)÷(小数)、(小数)÷(小数)の筆算形式除数の大きさと商の大小関係あまりのある小数でわる計算 |  | Ａ |
| ６月（20時間） |
| どんな計算になるか考えよう　　p.68 | 1 | 乗法、除法の演算決定 |  | Ａ |
| 6　 図形の合同と角　　ぴったり重なる形と図形の角を調べよう　　p.69～89 | 14 | 図形の合同の意味合同な図形の性質、作図三角形の3つの角の大きさの和四角形の4つの角の大きさの和多角形（五角形、六角形、七角形など）の意味と内角の和 |  | Ｂ |
| ７月（10時間） |
| 復習　　p.90～92 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り1学期の学習内容の復習 |  |  |
| ９月（20時間） | ２　　学　　期 | 7　 整数の性質　　整数の性質を調べよう　　p.93～106 | 10 | 偶数、奇数の意味とその分け方倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその求め方約数、公約数、最大公約数の意味とその求め方 | 最小公倍数最大公約数 | Ａ |
| 8　分数のたし算とひき算　　分数の計算のしかたを考えよう　　p.107～119 | 11 | 等しい大きさの分数約分の意味とその仕方分数の大小関係、通分の意味とその仕方異分母分数の加法、減法（帯分数含む） | 約分通分 | Ａ |
| 10月（20時間） |
| 算数ジャンプ　　p.120～121 | 1 | 階段の寸法についての考察 |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 10月（20時間） | ２　　学　　期 | 後　　　　　期 | 9　 平均　　ならした大きさで表そう　　p.123～130 | 4 | 平均の意味とその求め方　0を含む場合、離れ値の扱い平均の利用 |  | Ｄ |
| 10　単位量あたりの大きさ　　こみぐあいなどの比べ方を　　考えよう　　p.131～148 | 13 | 単位量あたりの考え方　こみぐあい、人口密度、とれ高単位量あたりの大きさの利用仕事量速さの意味、表し方、求め方 |  | Ｃ |
| 11　図形の面積　　面積の求め方を考えよう　　p.149～172 | 14 | 平行四辺形の面積の求め方と公式三角形の面積の求め方と公式台形の面積の求め方と公式ひし形の面積の求め方と公式 |  | Ｂ |
| 11月（20時間） |
| 12　正多角形と円　　円をくわしく調べよう　　p.173～191 | 12 | 折り紙で正多角形をつくる正多角形の意味円を使った正多角形の作図プログラミングの体験（正多角形の作図）円周と直径の関係円周率（3.14）の意味円周の求め方と公式 |  | Ｂ |
| 12月（10時間） |
| 13　倍を表す小数　　倍の計算を考えよう　　p.192～195 | 3 | 小数倍の第1用法、第2用法、第3用法 |  | Ｃ |
| 復習　　p.196～198 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り2学期の学習内容の復習 |  |  |
| １月（15時間） | ３　　学　　期 | 14　分数と小数、整数　　分数と小数、整数の関係を　　調べよう　　p.199～210 | 7 | （整数）÷（整数）の商を分数で表す分数倍分数の意味のまとめ分数と小数、整数の相互関係 |  | Ａ |
| 15　割合　　比べ方を考えよう　　p.211～225 | 10 | 割合の意味とその求め方　（割合）＝（比べる量）÷（もとにする量）百分率、歩合の意味と表し方割合を使う問題 | ％ | Ｃ |
| ２月（15時間） |
| どんな計算になるか考えよう　　p.226 | 1 | 小数倍や割合の場面の演算決定 |  | Ｃ |
| 16　帯グラフと円グラフ　　割合をグラフに表そう　　p.227～240 | 8 | 帯グラフ、円グラフの意味、よみ方、かき方複数の帯グラフを比べること統計的な問題解決の方法 |  | Ｄ |
| 17　角柱と円柱　　柱の形を調べよう　　p.241～251 | 7 | 角柱、円柱の意味と基本的性質、構成要素見取図、展開図 | 底面側面 | Ｂ |
| ３月（10時間） |
| 算数ジャンプ　　p.252～257 | 3 | 米に関する資料の考察海岸のごみに関する資料の考察積み重ねた立方体の色のぬられ方の考察 |  |  |
| 5年の復習　　p.260～264 | 3 | 単元で培った見方・考え方の振り返り5年の学習内容の総復習 |  |  |

『小学算数』６年　年間指導計画（略案）

　　　年間指導時数：158時間　予備時間：17時間　（標準時数：175時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| ４月（15時間） | １　　学　　期 | 前　　　　　期 | さあ、算数の学習をはじめよう！　　p.2～10 | 1 | 問題解決的な学習を進めることを通して、学習の進め方を確認する＊ともなって変わる2量の関係を調べる |  |  |
| 1　 対称な図形　　ぴったり重なる形を調べよう　　p.11～26 | 10 | 線対称、点対称の意味線対称、点対称な図形の性質、作図線対称、点対称な図形の性質に着目して図形（四角形、三角形、正多角形）をとらえ直す | 線対称対称の軸点対称対称の中心 | Ｂ |
| 2　 文字と式　　文字を使った式に表そう　　p.27～34 | 5 | 数量の関係を文字を用いた式で表す文字が表す数量のよみ方文字にあてはまる数 |  | Ａ |
| ５月（20時間） |
| 3　 分数のかけ算とわり算　　分数のかけ算とわり算の　　しかたを考えよう　　p.35～42 | 4 | (分数)×(整数)の意味と計算の仕方(分数)÷(整数)の意味と計算の仕方 |  | Ａ |
| 4　 分数のかけ算　　分数をかける計算のしかたを　　考えよう　　p.43～58 | 12 | (分数)×(分数)の意味と計算の仕方乗数の大きさと積の大小関係分数についても公式や計算法則が成り立つこと逆数の意味 |  | Ａ |
| ６月（20時間） | 5　 分数のわり算　　分数でわる計算のしかたを　　考えよう　　p.59～72 | 10 | (分数)÷(分数)の意味と計算の仕方逆数を利用した乗法への統合整数や小数を含む乗除を分数の乗法でとらえる除数の大きさと商の大小関係 |  | Ａ |
| どんな計算になるか考えよう　　p.73 | 1 | 分数の乗法、除法の演算決定 |  | Ａ |
| 6　 倍を表す分数　　倍の計算を考えよう　　p.74～77 | 3 | 分数倍の第1用法、第2用法、第3用法 |  | Ｃ |
| どんな計算になるか考えよう　　p.78 | 1 | 分数倍の場面の演算決定 |  | Ｃ |
| 7　 データの調べ方　　データの特ちょうを調べよう　　p.79～105 | 14 | 数直線を使って記録のちらばり具合を調べる度数分布表の見方、表し方柱状グラフの特徴とそのよみ方、表し方代表値の意味や求め方目的に応じた統計的な問題解決の方法 | ドットプロット平均値中央値最頻値階級 | Ｄ |
| ７月（10時間） |
| 復習　　p.106～108 | 1 | 単元で培った見方・考え方の振り返り1学期の学習内容の復習 |  |  |
| ９月（20時間） | ２　　学　　期 | 8　 円の面積　　円の面積の求め方を考えよう　　p.109～120 | 8 | 円の面積の求め方と公式 |  | Ｂ |
| 9　 角柱と円柱の体積　　立体の体積の求め方を考えよう　　p.121～130 | 6 | 角柱（三角柱、四角柱）の体積の求め方と公式円柱の体積の求め方と公式複合立体への公式の適用 |  | Ｂ |
| 10　場合の数　　ならび方や組み合わせ方を　　調べよう　　p.131～141 | 7 | 順列、組み合わせを樹形図や表を用いて求める落ちや重なりがないように分類整理して、順序よく列挙する |  | Ｄ |
| 10月（20時間） |
| 算数ジャンプ　　p.142～143 | 1 | 和食の献立の選び方の考察 |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ３学期制 | ２学期制 | 単元 | 指導時数 | 指導内容 | 用語記号 | 領域 |
| 10月（20時間） | ２　　学　　期 | 後　　　　　期 | 11　比　　2つの数で割合を表そう　　p.145～156 | 9 | 比の意味、比を使った表し方比の値の意味と求め方等しい比の求め方等しい比の性質の利用 | 比の値： | Ｃ |
| 12　拡大図と縮図　　形が同じで大きさのちがう　　図形を調べよう　　p.157～171 | 10 | 拡大図・縮図の意味拡大図・縮図の性質、作図（方眼を用いて、頂点を中心として）縮尺の意味、表し方、用い方縮図を利用した概測 |  | Ｂ |
| 11月（20時間） |
| 13　およその面積と体積　　およその面積と体積を求めよう　　p.172～174 | 2 | 概形から面積を求める概形から体積を求める |  | Ｂ |
| 14　比例と反比例　　2つの量の変わり方を調べよう　　p.175～195 | 13 | 比例の意味（定義）比例の関係を表す式　y＝(きまった数)×x比例の関係を表すグラフの特徴、よみ方、かき方比例の利用反比例の意味反比例の関係を表す式　y＝(きまった数)÷x反比例の関係をグラフに表すこと | 比例反比例 | Ｃ |
| 12月（10時間） |
| 算数ジャンプ　　p.196～201 | 3 | 水の節約に関する資料の考察家庭ごみや資源ごみに関する資料の考察階段ののぼり方と数のきまりに関する考察 |  |  |
| 復習　　p.204～207 | 2 | 単元で培った見方・考え方の振り返り2学期の学習内容の復習 |  |  |
| １月（15時間） | ３　　学　　期 | マテマランドを探検しよう！　　p.208～227 | 16 | 小学校算数の学習内容を使っていろいろな課題に取り組む〈パズルエリア〉・金貨を探せ!・整理して推理しよう・1位になるには・三角形の数のパズル・タングラム〈歴史エリア〉・地球のまわりの長さをはかった男・答えを100にできるかな・油分け・じょうずな計算のしかた・ふしぎな数の三角形・正方形で分けよう〈ふしぎエリア〉・表も裏もない輪・1m外側の長さは・チェスばんの部屋・バイバイ・イバーニ！ |  |  |
| ２月（15時間） |
| 6年間のまとめ　　p.228～242 | 12 | 小学校算数の学習内容の総復習・数と計算　　・図形・測定　　　　・変化と関係・データの活用 |  |  |
| ３月（10時間） | もうすぐ中学生　　p.243～250 | 7 | 算数の学習を発展させた中学校数学で学ぶ内容の一部を知る |  |  |